

1. 地域防災力向上に向けた意見交換会（石狩地域、上川中部地域）



地域防災力向上に向けた意見交換会
(石狩地域)
H31.2.20

災害に強い地域づくりを推進するため、北海道開発局が道内各地で開催している市町村長との意見交換会が、2月20日に石狩地域で、3月11日に上川中部地域で開催されました。

石狩地域では、北大公共政策大学院の高野院長から災害対応マネジメントについて、また、上川中部地域では、室蘭工大の有村准教授からビッグデータを活用した胆振東部地震の検証について紹介があり、その後、各市町村の事前防災や災害対応等について意見交換が行われました。

この意見交換会は平成22年度から始まり、今回の上川中部地域で全道を一巡しました。

2. 芽室町、寿都町、中札内村で国土強靱化地域計画が完成

昨年12月に芽室町で、また本年2月に寿都町で、3月に中札内村で、新たに国土強靱化地域計画が策定されました。

芽室町の計画は、道内では初となる総合計画と一体的に策定されたもので、総合計画の別冊となっており、「災害に強いまちづくり計画」など関連する計画と調和を図りながら、毎年度実行計画を策定し、強靱化の取組を推進することとされています。

3. オホーツク地域説明会の開催

2月5日、オホーツク総合振興局で管内市町村を対象とした国土強靱化地域計画に関する説明会を開催し、道から国土強靱化地域計画の策定手法を中心に説明を行った後、各市町村の計画策定の取組状況や地域計画の位置づけ、また、KPIの設定方法などについて意見交換を行いました。

道では本年度、国（内閣官房国土強靱化推進室）の出前講座を活用しながら地域説明会を5箇所で開催し、さらに国土強靱化地域計画の策定意向を示された20の市町村を直接訪問し、計画策定に関する意見交換を実施しました。

道内自治体の取組状況は、『5. 国土強靱化地域計画の策定状況』のとおり、地域計画策定済（予定含む）が70団体となり、前年同時期の27団体と比較し42団体の増となっています。

4. 「世界津波の日」2019高校生サミットin北海道



2015年の国連総会において11月5日が「世界津波の日」として制定されたことを機に、次代の国土強靱化を担うリーダーの育成する場として創設された「高校生サミット」を本年9月に北海道で開催します。

道では、日本を含め45か国から400名以上の参加が見込まれる今年のサミットを成功させるため、1月から北海道総合政策部政策局内に「世界津波の日高校生サミット推進室」を設置し、サミット開催に向けた準備を進めています。

- ・日程 9月10日（火）～11日（水）
- ・場所 北海きたえーる

5. 国土強靱化地域計画の策定状況

管内	市町村			管内	市町村		
	策定済	策定予定	市町村数		策定済	策定予定	市町村数
空知		岩見沢市、美瑛市、赤平町、奈井江町、長沼町、栗山町、妹背牛町	7	上川	美瑛町 (H30.3)	富良野市、東川町、中富良野町	4
石狩	札幌市 (H28.1)	千歳市、当別町	3	留萌		留萌市	1
後志	寿都町 (H31.2)	小樽市、蘭越町、二七町、喜茂別町、宗極町、倶知安町、共和町、岩内町、積丹町、神恵内村、余市町	12	宗谷		稚内市、利尻町	2
胆振		苫小牧市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、白老町、洞爺湖町	6	オホーツク		網走市、紋別市、斜里町、清水町、置戸町	5
日高		新冠町	1	十勝	芽室町 (H30.12) 中札内村 (H31.3)	音更町、鹿追町、新得町、清水町、広尾町、陸別町	8
渡島		函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町	8	釧路	釧路市 (H30.3)	浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町	6
檜山	江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町 (H30.10)		7	合計 (全国※)	13 (91)	57 (95)	70 (186)

※全国の市町村数は平成31年3月1日現在（内閣官房国土強靱化推進室HPより）

5. サポートします。地域計画策定！

国土強靱化地域計画の策定を検討されている市町村へ説明に伺います。ちょっとしたことでも構いませんので、質問等ありましたらお気軽にご連絡ください。